

クロピドグレル錠「トーワ」

この薬を飲んでいる間は 次の点に注意してください。

医師に指示された期間はきちんと服用を続けましょう。
自分の判断で飲むのをやめたり量を減らしたりしないでください。

**次のような症状に気がついたら、
すぐに医師または薬剤師に相談してください。**

- 皮膚が黄色くなる
- 皮膚にあざやぶつぶつができる
- 皮膚の広い範囲が赤くなる
- 白眼が黄色くなる
- 眼が充血する
- くちびるがただれる
- 強い疲労感、食欲低下がある
- うとうとする、意識が低下する
- 尿が茶色っぽくなる
- かぜのような症状
 - ・熱が出る
 - ・さむけがする
 - ・のどが痛む
- 鼻や歯ぐきからの出血がある
- 異常な出血がある、出血が長引く

このほかにも、気になることやわからないことがある場合は、
医師または薬剤師に相談してください。

施設名

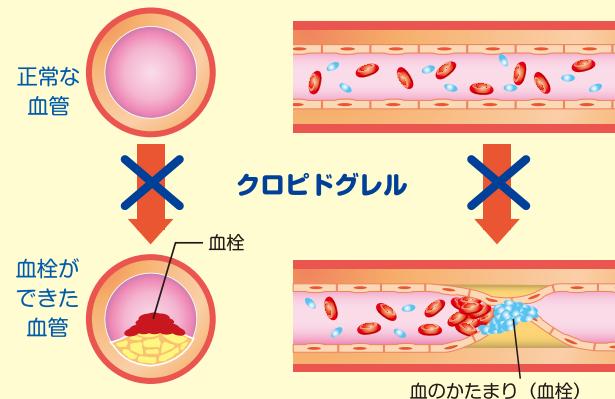
クロピドグレル錠「トーワ」 を服用されている方へ

大切な注意です。必ずお読みください

この薬は、血管の中に血のかたまり（血栓）ができるで血管が詰まるのを防ぐはたらきがあります。

血栓ができるのを防ぐ

詳しくは中面をご覧ください。



**次のような場合にはクロピドグレル錠「トーワ」を服用して
いることを医師・薬剤師にお伝えください。**

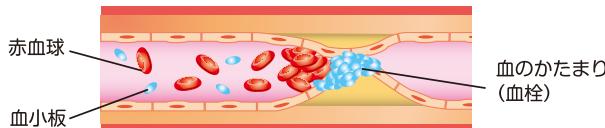
- 歯の治療、手術、内視鏡検査などを受ける場合
(血が止まりにくくなることがあります)
- 新たに他の薬を服用する場合
(作用の強さが変わることがあります)

クロピドグレルは血栓をできにくくする薬です。

脳梗塞や虚血性心疾患、末梢動脈疾患の患者さんは、それらが起きた血管以外でも血栓ができやすくなっています。

この状態では脳梗塞や虚血性心疾患を再発したり、合併する危険性が高いので、日ごろから血栓ができるないように予防する必要があります。再発や合併を起こさないために、薬を飲み続けることが大切です。

血栓ができた血管



脳で起こると

脳梗塞

足で起こると

末梢動脈疾患

心臓で起こると

虚血性心疾患 (狭心症・心筋梗塞)

虚血性心疾患でステント留置治療を受けた患者さんは、ステントの周囲に血栓ができるやすい状態になっています。



クロピドグレルは血栓ができるて血管が詰まるのを防ぎます。